

大牟田市に関する、さまざまな出来事を写真とともに紹介します。

まちかどレポート

今年も大好評の「まちゼミ」始まる

大牟田市内の商店主が講師となり、プロならではの専門的な知識や情報・コツを無料で受講者に伝える少人数制のゼミである「おおむた まちゼミ」が、2月1日から市内全域の各商店で始まりました。昨年に引き続き2回目となる今回は、昨年を超える全82講座が開講され、参加した受講者は和気あいあいとした雰囲気の中で講座を楽しみました。食や健康、物づくりなど、さまざまな体験ができるため、ほとんどの講座が定員いっぱいとなる盛況ぶりでした。



1、2. かんたんサンドウィッチ&おいしいバナナジュースの作り方を体験 (ベイズカフェ・フルーツ 田中 2月4日)
／ 3. 骨の歪みについて学び、施術で体のケアも体験 (カイロプラクティック Re Start 2月16日)

映画「いのちスケッチ」から命の大切さを学ぶ



動物園の取り組みへの理解や地元への愛着を深めてもらおうと、大正小学校6年生、大牟田中央小学校5・6年生を対象に映画「いのちスケッチ」の上映会と瀬木監督による講演会が、1月28日文化会館で開催されました。子どもたちは、真剣な表情で鑑賞した後、監督の話にも熱心に耳を傾けていました。

子どもたちは後日、動物園を訪問し、園の取り組みを間近で見て、飼育員さんの話を聞くことで、より動物福祉の取り組みへの理解を深めていきます。

オリンピック聖火が大牟田に！

東京2020オリンピック聖火の巡回展示が、2月15日に市民体育館で行われました。会場には、昨年3月にギリシャで採火が行われた聖火や聖火リレーに使用するトーチ、聖火を運んだ輸送機の模型の3点の展示に加え、スポーツ都市宣言30周年を記念して、大牟田市のスポーツの歴史を振り返るパネル展も行われました。来場の皆さんは、聖火を間近で見られるまたとない機会とあって、じっくり見たり、一緒に写真を撮ったりと、思い思いの楽しみ方で見学しました。

大牟田市では、5月11日(火)に聖火ランナーが大牟田のまちを駆け抜ける予定です。



専用のランタンに入れられた聖火





大正小学校にじょうろの寄贈

大正小学校の子どもたちが取り組む「大正フラワータウンプロジェクト」を支援しようと、地域住民で構成される「大正応援隊」から、じょうろ20個が寄贈されました。子どもたちが日々お世話をする花の水やりに活用されます。



古賀真由美さん、アンビシャス運動で受賞

長きにわたり、子どもたちの体験の場作りに取り組んできた古賀真由美さんが、青少年アンビシャス運動参加団体等表彰を受賞しました。2月12日に三川地区公民館で行われた表彰式には、日頃より活動を共にしている皆さんも駆け付けました。



橘中の防災教育がぼうさい甲子園で受賞

阪神・淡路大震災の経験と教訓を継承していくため、学校や地域の優れた防災活動を表彰する『ぼうさい甲子園』において、橘中学校の取り組みが令和2年度の防災未来賞に選ばれました。



消防団が福岡県知事表彰を受賞

大牟田市消防団は、令和2年7月豪雨の際に、822人の団員が出勤し、市内各地で300人以上の市民を救出、避難誘導などの活動を行ったことが称えられ、福岡県知事表彰を受賞しました。



駛馬小学校でガイド引き継ぎ

駛馬小学校6年生が取り組む宮原坑のボランティアガイドの引き継ぎが、2月12日に宮原坑で行われました。6年生はクイズを織り交ぜながら説明するなど立派なガイドを披露しました。



県立美術館のコレクションが大牟田に

「移動美術館展おむたアートミュージアム」が2月11日まで文化会館で開催されました。福岡県立美術館にある県や大牟田市にゆかりのある作品が多数展示され、来館者の目を楽ませました。